

栃木県生活協同組合連合会 2022年2月度の活動報告	
<p>◇機関会議等</p> <p>1日 第5回理事・幹部職員定期学習会</p> <p>8日 第5回定例理事会(書面開催)</p> <p>7日 暮らし部会起案・環境学習会</p> <p>15日 とちぎ消費者カレッジ講師学習懇談会</p> <p>28日 第6回理事・幹部職員定期学習会(環境問題)</p> <p>◇ネットワーク関連</p> <p>3日 とちぎ食の安全ネットワーク世話人会</p> <p>◇行政関連</p> <p>22日(火)第2回とちぎ食育推進連絡会(書面開催)</p>	<p>◇防災・被災地支援</p> <p>10日 第2回大規模災害対策協議会(オンライン)</p> <p>◇その他</p> <p>2日 全国 青年・女性漁業者交流大会審査委員会</p> <p>19日 子どもSUNSUNプロジェクト月例会</p> <p>22日 全国消費者フォーラム</p> <p>&lt;適格消費者団体NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動&gt;</p> <p>7日 事務局会議</p> <p>17日 消費者リンク理事会</p> <p>以上</p>

## 県連活動

### 1. 機関会議等

#### ● 2月8日(火) 第5回定例理事会(書面開催)

##### ■議決事項

第1号議案 第53回通常総会 関連事項決定の件

第2号議案 第53回通常総会 代議員定数枠及び選挙区別定数決定の件

第3号議案 第53回通常総会 役員定数枠及び選挙区別定数決定の件

##### ■協議事項

「第7次中期計画のまとめ」と「第8次中期計画」(案)

##### ■報告事項

(1) 月度定例報告及び次月度の活動計画

(2) 12月度決算報告

##### ■交流

(1) 会員報告

##### ■資料報告

(1) 日本生活協同組合連合会報告

(2) 総会までのスケジュール(案)

(3) 2022年度機関会議日程(案)

※次回日程 第6回定例理事会、地域・大学生協共済活動懇談会

日時:4月12日(火)13:30~16:00

場所 パルティ とちぎ男女共同参画センター302(2月1日現在実会合を予定)

● 2月7日(月) 暮らし部会起案の環境学習会を開催しました。(参加者 64名)

■演題:プラスチック汚染 世界と日本

■講師:共同通信編集委員 井田 徹治 氏

井田先生の学習会は2018年に続き、2回目となります。更に深刻化する環境汚染の現状や、世界の中の日本の立ち位置等をお聞かせいただきました。環境問題は私たちの暮らしとひとつながりであり、その影響を受けている様々な立場の人々の暮らしを考えました。生協の「環境政策」についても、更に取り組みを推進すべきであることを、参加者一同で共有しました。また、以前の学習会の際も、日本のリサイクル神話を信じる参加者が多くおりましたが、今回もまたそのような感想があり、繰り返し学習する事の必要性も感じる学習会となりました。



● 2月1日(火) 第5回理事・幹部職員定期学習会、組合員・役職員学習会

■演題:「新・全体主義」による憲法・地方自治体制の破壊  
～いま噛みしめる、地方自治と民主主義～

■講師:NPO法人多摩住民自治研究所理事 池上 洋通 氏

「現憲法が制定されてから75年。それは、国民が初めてこの国の主権者となってから、まだ75年しか経過していないということ。今現在、社会は私たちが望む方向へと進んでいるのか。私たちが主権者として不断の努力を怠っている間に、民主主義はいつのまにか新・全体主義と言うべき体制へと置き換わり、異論を許さない社会、また、戦争のでき得る国へと向かっているのではないか…」それは民主主義であるが故に、私たち自身の責任であるということを感じさせられるご講義でした。また、私たちの無関心の上に引き起こされている沖縄の現状等にも触れられ、生協のように一人ひとりの力を合わせて運動を広げていくことの重要性を、強く感じる学習会でした。



● 2月28日(月) 第6回理事・幹部職員定期学習会、組合員・役職員学習会

■演題:改めて考える“環境的に持続可能な社会”への道

～ストックホルムから50年、リオから30年を振り返って～

■講師:日本環境会議理事長・一橋大学名誉教授 寺西 俊一 氏

今年はCOPストックホルム大会から50年、リオ大会から30年と、環境問題に対峙してきた歴史の節目にあたります。が、環境は悪化の一途を辿っているようです。



日本には、未だに解決されない公害があり、今現在も沖縄で繰り返されている事や、折しも(資料より、真ん中が寺西俊一先生、隣に宮本憲一先生も)始められてしまった、破滅的なロシアのウクライナ侵攻についても触れられ、環境問題を広く大きな視点からご教授いただきました。いうまでもなく、戦争は最大の環境破壊であり人権侵害ですが、環境と人権の問題は同源であることを理解する上で貴重なご講義でした。今後、世界規模で起きる大転換が、少しでも良い方向に迎えるよう、一人一人が自覚して行動する以外に道はないと感じる時間となりました。

## ネットワーク活動

### 1. とちぎ食の安全ネットワーク

#### ● 2月3日(木) 第5回とちぎ食の安全ネットワーク世話人会(オンライン開催)

世話人会学習会は「化学物質が子どもの健康に及ぼす影響を考える＝ネオニコチノイド系農薬を中心として＝」を、宇田先生より解説いただきました。また、2021年度の取り組みと2022年度の計画についての協議と、参加団体からの活動報告等を行いました。

### 2. とちぎ消費者ネットワーク

#### ● 2月15日(火) 消費者問題学習懇談会

■演題：成年年齢引き下げに伴う高校生への消費者教育をどのように進めるか

■講師：柿野成美 氏（公益財団法人 消費者教育支援センター 専務理事・主席主任研究所）

とちぎ消費者カレッジは、今年度より対象を高校生まで広げ開催しています。そのカレッジの講師を対象に、成年年齢引き下げを目前に控え、高校生への効果的な消費者教育の在り方について、学習懇談会を実施しました。講師の柿野先生は、中央省庁や地方自治体の消費者教育用教材の作成や消費者計画等の策定支援、教員や地域の消費者教育の担い手等を対象にした講演会等、幅広く活動していらっしやいます。当日は、埼玉県で実施している「高校や大学との連携による不当表示広告調査」にて、実際に高校生が家庭に届いた「怪しい広告」を報告する取り組みの実例を挙げられ、自分で参加して考える取り組みの重要性についても伺うことができました。



#### ● 消費者カレッジ開催報告

2月1日(火)  
県立真岡北陵高等学校3年生  
(録画した講義を視聴)

社会への扉 ～契約とはなんだろう？  
お金と生活の安全を守るにはどうすればよいのだろう？～  
講師：栃木県弁護士会 弁護士 阿部 健一 氏

## 防災・被災者支援・緊急対策

### 1. 防災

#### ● 2月10日(木) 2021年度第2回中央地連 大規模災害対策協議会全体会議(オンライン開催)

①講演：テーマ「首都直下地震」

講師：国立研究開発法人防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門 藤原広行 氏

②事前アンケートに基づく全体交流

③日本生協連報告（BCP・危機管理担当、地域コミュニティ担当）

全国生協大規模災害連携計画～全国生協BCP（第6版）～6第6版の改定にあたって、以下変更点等の報告がありました。

- ・ 第5版までの基本的な考え方、取り組み方針に変更はありません。
- ・ 発災時に速やかに対応できること、被災状況に応じた対応のしやすさを重視して、簡潔な本文、および、別添資料の構成にしました。
- ・ 第2章 取り組みの重点では、平時と災害時の基本行動計画を定めました。

**栃木県生協連 2022年3月度、2022年4月度の活動予定**

2022年2月28日(月)

栃木県生活協同組合連合会

2022年3月度予定	
1日(火)	適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク事例検討委員会
2日(水)	全国漁業協同組合 青年・女性漁業者交流大会審査委員会
5日(土)	こども SUNSUN プロジェクト月例会議
7日(月)	栃木県種苗検討会議 栃木県労福協会会長来協
8日(火)	省エネ推進セミナー(栃木県)
10日(木)	とちぎ消費者ネットワーク「消費者問題学習会(成年年齢引き下げ問題)」
12日(土)	適格消費者団体連絡協議会
14日(月)	とちぎコープ NPO 法人助成金審査会傍聴 宇都宮商業高校定時制カレッジ
15日(火)	第6回常務理事会 第7回 理事・幹部職員定期学習会
22日(火)	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
23日(水)	日生協中央地連運営委員会 日生協全国方針検討集会 宇都宮市食品安全懇話会
20日(日)	こども SUNSUN プロジェクト
<p>・ ユニセフによるウクライナの難民支援(ウクライナ緊急支援募金)が始まっております。 栃木県生活協同組合連合会では、会員に対し募金活動の取り組みを呼び掛けます。</p>	
2022年4月度予定	
4日(月)	第6回くらし部会
7日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
12日(火)	第6回定例理事会 地域・大学生協共済活動懇談会
14日(木)	労福協幹事会
22日(金)	第8回理事・幹部職員定期学習会 総括討論